

# 人権教室の御案内(小学生向け)

徳島人権擁護委員協議会・徳島地方法務局

## 1 「人形劇」を用いた人権教室

演目①：ともだちやもんな、ぼくら (「カブトムシ」(夏)バージョン)



### 概要

作者は『おこだでませんように』のくすのきしげのりさん(徳島県生まれ。鳴門市在住)。

舞台は夏休み。ヒデトシ、マナブ、ぼくの三人はカブトムシを取ろうと、木に登った。カミナリじいさんに見つかってしまう。友達が転んで逃げ遅れる。

さて、どうなる・・・？

男の子の友情物語です。

### ねらい

「ともだちっていいな！ともだちは大切！」ということに気付いてもらうこと。

演目②：ともだちっていいな ※(「ともだちやもんな、ぼくら」の柿(秋)バージョン)



### 概要

じゅん、ゆうや、ぼくの三人は柿を取ろうとしたが、カミナリじいさんに見つかってしまう。友達が転んで逃げ遅れる。

さて、どうなる・・・？

男の子の友情物語です。

### ねらい

「ともだちっていいな！ともだちは大切！」ということに気付いてもらうこと。

演目③：「モン太とクマ吉」 ※(「ぼくのきもち きみのきもち」がモデル)



### 概要

いじめられている児童(モン太)と、いじめをしている児童(クマ吉)の体(立場)が入れ替わることで、お互いの気持ちに気付き、理解し合う姿を描いています。

### ねらい

いじめ問題、そして「相手を思いやる気持ちの大切さ」に子どもたちが気付くきっかけとしてもらうこと。

#### 演目④：「はっぱのフレディー - いのちの旅 -」（阿波市）



##### 概要

葉っぱのフレディのおはなし。

春に生まれたフレディは、たくさんの葉っぱにとりまかれています。秋が来ると、緑色の葉っぱたちは一気に紅葉。そして冬、葉っぱが死ぬときがきます。死ぬとはどういうことなのか？ダニエルはフレディに、いのちについて説きます。「いつかは死ぬさ。でも”いのち”は永遠に生きているのだよ。」

##### ねらい

フレディとダニエルの会話を通じて、受け継がれていく命の大切さを考えてもらうこと。

#### 演目⑤：「まっくろネリノ」（阿波市）



##### 概要

真っ黒なネリノは、父さん、母さん、そして4人の兄さんの7人家族。ネリノが真っ黒だからという理由で、兄さんたちはネリノと遊んでくれません。ある日、4人の兄さんが行方不明になってしまいます。美しい色がゆえに、兄さんたちは鳥かごに捕まってしまったのです。そこでネリノがとった行動とは・・・？ネリノは自分の真っ黒を活かし、兄さんたちを救ったのです。

##### ねらい

人との違いを認め、本当の自分を受け入れる。小さなことでも、自分のできることや得意なことを認めることで、自分を好きになれることに気付くきっかけとしてもらうこと。

#### 演目⑥：「花さき山」（阿波市）



##### 概要

お祭りのために花をとりに山へ出かけた10歳のあやは山ンばに出会います。不思議な話を山ンばは聞かせます。

「この山の花は村の人が優しいことをするたびに咲くのだ。やさしさ、けなげさとは何か、美しい花を咲かせた心とは、どんなものなのか…様々なことを考えさせられる、民話風のお話です。」

##### ねらい

自分が我慢や辛抱するという部分ではなく、「誰かを思って行動する」ということの尊さに気付くきっかけとしてもらうこと。

## 2 「人権冊子」を使った人権教室

### 人権冊子:「種をまこう」を使用した人権教室



「巻頭のメッセージ」の唱和



#### ねらい

「人権」とはなにかということ、種まきから芽が出て花が咲き、実がみえるまでの過程に例えて分かりやすく表現されている。

「思いやり」「愛」「笑顔」「幸せ」について気付くきっかけとしてもらうこと。

#### 概要

##### <巻頭のメッセージ>

種をまこう、こころの中に種をまこう。みんなのこころに、種をまこう。生まれたばかりのやわらかいこころに、「人権」という名の種をまこう。「思いやり」という名の水と「愛」という名の栄養をそそいであげよう。みんなの「笑顔」という名の陽をあびて、芽が出る花が咲く。大きな幸せの実がみえる。

※「人権の花贈呈式」「種をまこう」「人形劇」の3件をセット実施する場合もある

## 3 「人権の花運動」での人権教室(市町村と連携)



児童と人権擁護委員が協力し花苗植え

#### 概要

この運動は、おもに小学生を対象とした啓発運動で、昭和57年度から実施されています。

学校に贈呈した花の種子、球根などを、子どもたちが協力し育てます。

また、学校によっては、育てた花を父母や社会福祉施設に届けたり、このような体験を振り返る写生会、鑑賞会を開催しています。

#### ねらい

子どもたちが協力し花を育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得すること。

また、育てた花を社会福祉施設に届けたり、このような体験を振り返る写生会、鑑賞会を開催したりすることにより、一層の人権尊重思想の普及高揚を図る。



まもる君とあゆみちゃんと記念撮影

## 4「NTTドコモと連携したスマホ・ケータイ安全人権教室」



### 概要

安全教室（ドコモ）＋人権教室（人権擁護委員）の2部構成です。

安全教室では、自分にも起こり得る身近なトラブルについての気づき、スマートフォン・携帯電話を安全に使うためにはルールとマナーを守ることが必要であることを、アニメーション又はスライドを使用してNTTドコモのインストラクターが説明します。

人権教室では、人権擁護委員が、困ったことになった時の対処法について紹介します。特に、子どもの人権「SOSミニレター」による相談は必ず紹介します。

### ねらい

スマートフォン・携帯電話でのトラブルや困ったことは、一人で悩まずに出来るだけ早く周りにいる大人に相談すること。もし、誰にも相談出来ない場合は紹介した相談窓口に連絡し、法務局職員又は人権擁護委員に相談することを周知すること。

### ※御注意※

人権擁護委員が児童にするお話は大切な内容ですが、学校から徳島県教育委員会に提出する「スマートフォン・携帯電話安全教室実施申込書」において、人権教室を「希望する」としていただかないと実施することができません。ドコモと合わせると授業1限の時間を約10分超えることとなりますが、御理解をお願いいたします。